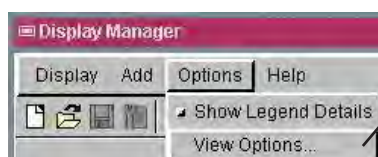


再描画設定を手動または自動にする

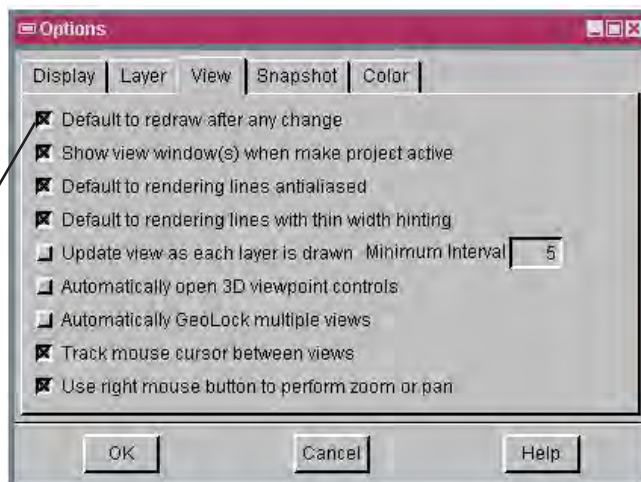
ご存知でしたか?... 再描画モードの初期設定を、レイヤ変更の際自動で再描画するか、または必要時に手動で再描画するように設定できます。

再描画の設定を手動または自動に設定することで...


- 表示画面を再描画する方法についての設定を簡単に行えます。
- 設定の変更は全ての表示画面に対して適用されます。
- データサイズの大きなオブジェクトを追加したり修正する際は手動再描画の方がよい。



メニューから [表示ウィンドウオプション (View Options)] を選択して、〈オプション (Options)〉ウィンドウを開きます。




このトグルがオンの時、その後開く新規の表示ウィンドウで [何か変更後に再描画 (Redraw after any change)] アイコンが押されています。データが小さくて表示が早い場合や、レイヤの全表示範囲が既に表示ウィンドウの中にありレイヤキャッシュが効いている場合、自動描画するために、このボタンはオンにした方がよいでしょう。大きなオブジェクトを追加したり修正を行う場合は、必要に応じて再描画できるよう、このトグルはオフにした方がよいでしょう。

 [何か変更後に再描画] アイコン (V74:2008 以降このアイコンはなくなりました。)



このアイコンは、開いている表示ウィンドウに対する再描画の初期設定を切り替えます。

 [再描画 (Redraw)] アイコン (V74:2008 以降では [リフレッシュ (Refresh)])



このアイコンは、必要に応じて表示画面を再描画します。[何か変更後に再描画] アイコンがオンの時は使う必要がありません。

再描画の設定を手動または自動にする方法

- 〈表示マネージャ (Display Manager)〉メニューから [オプション (Options)] > [表示ウィンドウオプション (View Options)] を選ぶか、〈エディタ - レイヤマネージャ (Editor-Layer Manager)〉メニューから [セットアップ (Setup)] > [詳細設定 (Preferences)] を選択します。
- 開いたウィンドウの [表示ウィンドウ (View)] タブをクリックします。
- [変更後再描画するように設定する (Default to redraw after any change)] ボタンをオンにして、自動再描画モードにします。(V74:2008 以降このアイコンはなくなりました。)
- 表示ウィンドウの [何か変更後に再描画] アイコンを押し戻すと、必要な時に手動再描画するモードに切り替わります。
- [何か変更後に再描画] アイコンを押し込んで、自動再描画モードをオンにします。

さらに知りたいことがあれば...

以下のテクニカルガイドをご覧ください：

ツールバーの機能の表示
(View Toolbar Features)



(翻訳) 株式会社 オープン GIS
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14
紀伊国屋ビル 1F
Tel: (03)3623-2851
Fax: (03)3623-3025
E-mail: info@opengis.co.jp